

船舶が貨物を揚げ、別の貨物を積んで出港した場合

980総トン的一般貨物船(用途コードT71)兵庫丸(日本国籍:国籍コード1000)が、内航不定期航路(航路コード02)で令和8年2月27日に姫路港(調査港コード28002)に入港し、飾磨2号岸壁(施設コード1214)で27日11時から28日17時まで1日6時間係留した。そこでは鳥取港(港湾コード31010)からの砂利(品名コード161)3,500トンを陸揚げし、金属くず(品名コード481)を2,000トン積み、東京港(港湾コード13001)へ向けて出港した。報告者は兵庫県運輸(報告者コード000)であった。

112 年 2 月 314 日

2026年 2月 314日

調査港 姫路港 28002

事業者名 兵庫県運輸

所在地 ○○市△△区××

氏名 兵庫 太郎

調査員 氏名

報告者 1011112

000

入港日	入港船舶			係留状況			船舶			海上出入貨物				備考	
	上段:船名 下段:総トン数	航路名	国籍	用途	場所	時間	乗降人員	最終船卸港 又は 最初船積港	仕向港 又は 仕出港	貨物形態 1 コンテナ 2 シヤーン 3 その他	上段:品名 又は 車種 下段:数量 (トン又は 台)	種類 コンテナ 種別 1 トライ 2 リーフ 3 シヤーン 4 その他	個数 又は 台数		
19:14	兵庫丸 980	内航不定期 02	日本 1000	一般貨物船 T71	飾磨2号岸壁(7.5m) 1214	2月27日 11:00 2月28日 17:00	上段:乗込人員 下段:上陸人員 41 42 43 44 45	66	鳥取	砂利・砂	70 71 72 73 74 75 76	84	85	86	87 88 89 90 91
27	兵庫丸 980	内航不定期 02	日本 1000	一般貨物船 T71	飾磨2号岸壁(7.5m) 1214	2月27日 11:00 2月28日 17:00	上段:乗込人員 下段:上陸人員 40 47 48 49 50	67 68 69	鳥取	砂利・砂	77 78 79 80 81 82 83	84	85	86	92 93 94 95 96
↓								3	東京	金属くず					
								3	東京	金属くず					
								3	東京	金属くず					
								481	東京	金属くず					

1. 各貨物を種類と出入別で分けて各行に記入する。

取扱貨物が複数の場合

姫路港(調査港コード28002)に内航定期航路(航路コード01)で5,000総トン的一般貨物船(用途コードT71)港湾丸(日本船籍:国籍コード1000)が令和8年9月14日に入港し、飾磨4号岸壁(施設コード1215)に14日14時から15日10時まで20時間係留した。そこでは横浜港(港湾コード14001)から金属くず(品名コード481)を550トン、東京港(港湾コード13001)、千葉港(港湾コード12001)から2,000トン、800トンの鋼材(品名コード222)を陸揚げし、産業機械(品名コード261)を150トン積み、北九州港(港湾コード40001)へ向けて出港した。報告者は兵庫県運輸(報告者コード000)であった。

1.2 2026年	3.4 9月	調査港 5.6.7.8.9 姫路港 28002	事業者名 兵庫県運輸	調査員 所屬 氏名
報告者 10.11.12 000	所在地 兵庫 太郎	氏名		

入港日	入港船舶			係留状況			船舶乗降人員		貨物の内容				海上出入貨物				備考	
	上段:船名 下段:総トン数	航路名	国籍	用途	場所	時間	乗降人員		仕向港 又は 仕出港	最終船積港 又は 最初船積港	貨物形態 1 コンテナ 2 シヤーン 3 その他	上段:品名 又は 車種	下段:数量 (トン又は 台)	コンテナ又はシヤーン				
							上段:乗込人員	下段:上陸人員						種類	長さ	個数		又は 台数
13.14	15.17.18.19.20	2.22	23.24.25	26.27.28.29.30.31	32.33.34	35.36.37.38.39.40	41.42.43.44.45	51	52.53.54.55.56.57.58.59.60.61.62.63.64.65	66	67.68.69	70.71.72.73.74.75.76	77.78.79.80.81.82.83	84	85	86	87.88.89.90.91	97
14	港湾丸 5000	内航定期 01	日本 1000	一般貨物船 T71	飾磨3~6号岸壁(-10m) 1215	9月14日 14:00 9月15日 10:00 00 20 00		4	横浜 14001	金属くず 3	550							
↓								4	東京 13001	鋼材 3	2000							
↓								4	千葉 12001	鋼材 3	800							
↓								2	北九州 40001	産業機械 3	150							

1. 各貨物を種類と出入別で分けて各行に記入する。

プッシュャーバージの場合

神戸港(港湾コード28001)から、プッシュャーバージが内航不定期航路(航路コード02)で尾崎西宮芦屋港(調査港コード28003)に令和8年2月1日に入港し、東海岸町2号岸壁(施設コード1006)に1日10時から同日17時まで7時間係留した。そこでは鋼材5600トン(品名コード222)が陸揚げされ、その後プッシュャーバージは神戸港へ引き返した。ただし、プッシュャー(押船:用途コードT97)みなと丸(日本国籍:国籍コード1000)は380総トン、バージは4,500総トンで、報告者は兵庫県運輸(報告者コード000)であった。

1:2 20	3:4 26	年	5:6 7:8 18:19	調査港 尾崎西宮芦屋港	28003
10:11:12 000	報告者	所在地	兵庫県運輸	事業者名	兵庫県運輸
000	000	兵庫 太郎	兵庫 太郎	調査員	兵庫 太郎

入港日	入港船舶			船舶			海上出入貨物				備考					
	上段:船名 下段:総トン数	航路名	国籍	用途	場所	係留状況 時間	乗降人員		貨物の内容							
							上段:乗込人員 下段:上陸人員	仕向港 又は 仕出港	最終船卸港 又は 最初船積港	貨物形態 1 コンテナ 2 シャーシ 3 その他		上段:品名 又は 車種 下段:数量 (トン又は台)	種類 コンテナ 種別 長さ	個数 又は 台数		
15:14	15:06:17:18:09:20	21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34	日本	内航不定 期	東海岸町2~3 号岸壁(-10m)	2月1日 10:00 2月1日 17:00	41:42:43:44:45	51	70:71:72:73:74:75:76	66	84	85	86	87:88:89:90:91	97	
1	みなと丸 380	02	1000	T97	1006	00 07 00	48:49:50	51	77:78:79:80:81:82:83	67:68:69	鋼材	5600				

1. 船舶調査はプッシュャーが対象。非自航バージは総トン数を計上しない。

曳船+バージの場合

神戸港(港湾コード28001)から、バージを曳いた曳船が内航不定期航路(航路コード02)で東播磨港(調査港コード28004)に令和8年9月9日に入港し、高砂公共岸壁(施設コード1157)に9日22時から10日12時まで14時間係留した。ここではバージから空コンテナ(20ftのドライコンテナ30個)が船卸しされた後、曳船は別のバージに船積みされた化学肥料342トン(品名コード361:20ftのドライコンテナ18個)を曳いて、神戸港へ向した。その後神戸港で化学肥料342トンは他の船舶に積替えられて、中国の大連港(港湾コード1104008)に運ばれそこで船卸しされた。ただし、曳船(用途コードT97)第三播磨(日本国籍:国籍コード1000)は19総トン、バージの総トン数はいずれも不明で、報告者は東播磨海運(報告者コード900)であった。

提出期日 毎月分を翌月10日まで。 東播磨海運 調査港 東播磨港 調査港コード 28004

1:2 3:4 20 26 年 9 月 分

報告者 1011112 所在地 ○○市△△区×× 所属 調査員 氏名

900 氏名 播磨 一郎

入港日	入港船舶		係留状況		船舶乗降人員		貨物の内容				海上出入貨物				備考
	上段:船名 下段:総トン数	航路名	国籍	用途	場所	時間	上段:乗込人員 下段:上陸人員	区分	仕向港 又は 仕出港	最終船卸港 又は 最初船積港	貨物形態 1コンテナ 2シヤーン 3その他	上段:品名 車種 下段:数量 (トン又は 台)	種類 コンテナ 種別長さ 1 18ft 24ft 2 10ft 8.35ft 3 12ft 7.40ft 4 その他	個数 又は 台数	
13:14	15:16:17:18:19:20 第三播磨	21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34	日本	曳船+押船	高砂公共岸壁 (-5.5m)	8月9日 22:00 8月10日 12:00	41:42:43:44:45	1 輸出 2 移出 3 輸入 4 移入	神戸			70:71:72:73:74:75:76 77:78:79:80:81:82:83	84 85 86	87:88:89:90:91 92:93:94:95:96	97
9	19	02	1000	T97	1157	8月9日 00:00 8月10日 14:00			28001				2 1 4	30	
J									神戸	ダリーエン(大連)	化学肥料		1 1 4	18	
									28001	1104008	361				

1. 船舶調査は曳船が対象。非自航バージは総トン数を計上しない。
2. 最終船卸港は大連だが、仕向港は神戸であり、国内港であるので内航区分となる。

1日に同じ航路で複数回運航した場合

姫路港(港湾コード28002)で姫路港と福田港(港湾コード37208)を結ぶ1,000総トンの内航定期(航路コード01)のフェリー(用途コードT93)はばたん丸(日本国籍:国籍コード1000)が、自社専用施設(施設コード2998)に令和8年10月5日に7回入港し、航送車両台数は以下の通りであった。報告者は、兵庫フェリー(報告者コード999)であった。また、はばたん丸は姫路港で乗込220人、上陸271人の乗降客があり、船舶用品として重油(燃料)(品名コード311)400トン、その他日用品(品目コード444)300トンを積み込んだ。7回の係留時間の合計は8時間であった。

(バス) 大型 (出) 2 (入) 0 (トラック) 特大 (出) 8 (入) 6
 普通 (出) 1 (入) 1 (乗用車) 普通・小型 (出) 66 (入) 70

1:2	26	年
3:4	10	月分
調査港湾		姫路港
5:6		7:8:9
		28002

報告者	10:11:12
999	
事業者名	兵庫フェリー
所在地	〇〇市△△区△△
氏名	兵庫 次郎
所属	調査員

入港日	入港船舶		係留状況		船舶		海上出入貨物				備考										
	上段:船名 下段:総トン数	航路名	国籍	用途	場所	時間	乗降人員	区分	仕向港 又は 仕出港	最終船卸港 又は 最初船積港	貨物の内容	上段:品名 又は 車種	種類	個数 又は 台数							
	15:06:17	18:09:20	2:22	23:24:25	26:27:28	29:30:31	32:33:34	35:36	37:38	39:40	41:42	43:44	45	1 輸出 2 移出 3 輸入 4 移入	福田	福田	バス大型	70:71:72:73:74:75:76	84	85	86
5	はばたん丸 1000	内航定期 01	日本 1000	自動車航 送船 T93	自社専用施設 2998	0 8 0	220 271	52:53:54:55:56:57:58:59:60:61:62:63:64:65	福田	福田	バス大型	バス	バス	バス	7						
↓							2				バス普通	バス	バス								
↓							4				バス普通	バス	バス								





入港船舶				船舶			海上出入貨物						備考						
入港日	上段:船名 下段:総し数	航路名	国籍	用途	係留状況		乗降人員			貨物の内容			コンテナ又はシャーシ						
					場所	時間	上段:乗込人員 下段:上陸人員	区分	仕向港 又は 仕出港	最終船卸港 又は 最初船積港	貨物形態	上段:品名 又は 車種 下段:数量 (トン又は 台)	種類	個数 又は 台数					
					月	日	時	分	月	日	時	分	1 コンテナ	2 シャーシ	3 その他	1 ドライ	2 リフト	3 その他	4 空コンテナ
12:14	15:16:17:18:19:20	21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34			月	日	時	分	41:42:43:44:45	51	52:53:54:55:56:57:58:59:60:61:62:63:64:65	66	70:71:72:73:74:75:76	84	85	86	87:88:89:90:91	97	
↓											福田	トラック 特大							
↓									2	37208		3	8						
↓									4	福田		3	6						
↓									2	37208		3	66						
↓									4	福田		3	70						
↓									2	海上		3	400						
↓									2	99997		3	311						
↓									2	海上		3	その他日用品						
↓									2	99997		3	444						

1. 同じ航路は合計で計上してよい。ただし入港日が異なる場合は原則合計せず、行を分けて記載する。
※例外措置として、1月分すべてを合計で計上することもできるが、その場合は港湾課の了解を得る必要がある。
2. 航送した車両については、車種と出入別で分けて各行に記入する。
3. 船舶用品(船舶の運行上必要なもの)は、仕向港を「海上」とする「移出貨物」として扱う。
4. 入港した合計回数、備考欄(入港日に値を入力している行)に記入する。

4. 調査票の記入例(乙種)

乙種港湾電子調査票

調査年	年分
調査港湾	
報告義務者	
報告者コード	

報告者コードを入力すると調査港湾、報告義務者情報(サイバポートコードを含む)が自動で入力されます。

1. 入港船舶

	隻数	総トン数
外航商船(フェリーは除く)	500総トン以上 5総トン以上500総トン未満	トン未満は切り捨てて下さい。
内航商船(フェリーは除く)	500総トン以上 5総トン以上500総トン未満	
自動車航送船(フェリー)		
漁船		
避難船		
その他		

2. 船舶乗降人員

航路	乗 込	乗 降	人員(人)
外国航路			
内国航路			

3. 海上出入貨物

(1) コンテナ又はシャーシ

	輸出	移出	輸入	移入
40ftコンテナ(個)				
20ftコンテナ(個)				
その他コンテナ(個)				
シャーシ(台)				

40ft: 40ft以上
20ft: 20ft以上40ft未満
その他: 20ft未満

(2) 貨物の内容

No.	品種コード	貨物形態	輸出 (トン数又は台数)	移出 (トン数又は台数)	輸入 (トン数又は台数)	移入 (トン数又は台数)	品名
	選択or直接入力 コード表 または コード検索ツール を参照	選択 1: コンテナ 2: シャーン 3: その他 4: オンシャーシコンテナ	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

トン未満は四捨五入して下さい。

(入力は任意です。)

注1 「貨物形態」の欄は、該当する番号を記入して下さい。ただし、自動車航送船の場合は記入しないで下さい。
注2 自動車航送船の場合に限り、車種及び台数を記入して下さい。

乙種港湾 一般貨物船等の場合

津名港(調査港コード28008)において、2026年の1年間で砂利・砂(品名コード161)を4,258トン、再利用資材(品名コード491)を12,500トン陸揚げした。さらに、この1年間で1,850トンの砂利・砂を船積みして出荷した。船舶ののべ隻数は499総トンが8隻、380総トンが11隻であった。報告者は津名建材(報告者コード991(サイバーポートでの報告者コードR09991))であった。

調査年	2026	年分
調査港湾	0028008	津名港
報告義務者	津名建材	R09991
	報告者コード→	991

1. 入港船舶

		隻数	総トン数
外航商船(フェリーは除く)	500総トン以上		
	5総トン以上500総トン未満		
内航商船(フェリーは除く)	500総トン以上		
	5総トン以上500総トン未満	19	8172
自動車航送船(フェリー)			
漁船			
避難船			
その他			

2. 船舶乗降人員

航路	乗 込	乗 降	人員(人)
外国航路	乗 込		
	乗 降		
内国航路	乗 込		
	乗 降		

3. 海上出入貨物

(1) コンテナ又はシャーシ

	輸出	移出	輸入	移入
40ftコンテナ(個)				
20ftコンテナ(個)				
その他コンテナ(個)				
シャーシ(台)				

(2) 貨物の内容

No.	品種コード	貨物形態	輸出 (トン数又は台数)	移出 (トン数又は台数)	輸入 (トン数又は台数)	移入 (トン数又は台数)	品名
	選択or直接入力	選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
	コード表 または コード検索ツール を参照	1: コンテナ 2: シャーシ 3: その他 4: オンシャーシコンテナ					
1	161	3		1850		4258	移入: 海砂、移出: 砕砂
2	491	3				12500	スクラップ
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

1. 利用した係留施設については調査しない。
2. 入港船舶の隻数・総トン数には各種船舶の合計値を記入する。
ただし5総トン未満の船舶については隻数・総トン数を計上しない。

乙種港湾 漁船の場合

古池港(調査港コード28028)において、2026年の1年間で水産品(魚)(品名コード081) 3,480トンの水揚げした。漁船ののべ隻数は4.8総トンが10隻、5.9総トンが10隻、7.5総トンが10隻であった。報告者は兵庫県漁業(報告者コード992(サイバーポートでの報告者コードR09992))であった。

調査年	2026	年分
調査港湾	0028028	古池港
報告義務者	兵庫県漁業	R09992
	報告者コード	992

1. 入港船舶

		隻数	総トン数
外航商船(フェリーは除く)	500総トン以上		
	5総トン以上500総トン未満		
内航商船(フェリーは除く)	500総トン以上		
	5総トン以上500総トン未満		
自動車航送船(フェリー)			
漁船		20	134
避難船			
その他			

2. 船舶乗降人員

航路		人員(人)
外国航路	乗込	
	上陸	
内国航路	乗込	
	上陸	

3. 海上出入貨物

(1) コンテナ又はシャーシ

	輸出	移出	輸入	移入
40ftコンテナ(個)				
20ftコンテナ(個)				
その他コンテナ(個)				
シャーシ(台)				

(2) 貨物の内容

No.	品種コード	貨物形態	輸出 (トン数又は台数)	移出 (トン数又は台数)	輸入 (トン数又は台数)	移入 (トン数又は台数)	品名
	選択or直接入力 コード表 または コード検索ツール を参照	選択 1: コンテナ 2: シャーシ 3: その他 4: オンシャーシコンテナ	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
1	081	3				3480	魚
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

1. 利用した係留施設については調査しない。
2. 入港船舶の隻数・総トン数には各種船舶の合計値を記入する。
ただし5総トン未満の船舶については隻数・総トン数を計上しない。

乙種港湾 客船の場合

家島港(調査港コード28023)において、2026年の1年間の家品港での乗降客は、乗込80,362人、上陸85,298人であった。客船ののべ隻数は105総トンが1,526隻、390総トンが2,030隻であった。報告者は家島フェリー(報告者コード993(サイバーポートでの報告者コードR09993))であった。

調査年	2026	年分
調査港湾	0028023	家島港
報告義務者	家島フェリー	R09993
	報告者コード	993

1. 入港船舶

		隻数	総トン数
外航商船(フェリーは除く)	500総トン以上		
	5総トン以上500総トン未満		
内航商船(フェリーは除く)	500総トン以上		
	5総トン以上500総トン未満	3556	951930
自動車航送船(フェリー)			
漁船			
避難船			
その他			

2. 船舶乗降人員

航路		人員(人)
外国航路	乗込	
	上陸	
内国航路	乗込	80362
	上陸	85298

3. 海上出入貨物

(1) コンテナ又はシャーシ

	輸出	移出	輸入	移入
40ftコンテナ(個)				
20ftコンテナ(個)				
その他コンテナ(個)				
シャーシ(台)				

(2) 貨物の内容

No.	品種コード	貨物形態	輸出 (トン数又は台数)	移出 (トン数又は台数)	輸入 (トン数又は台数)	移入 (トン数又は台数)	品名
	選択or直接入力 コード表 または コード検索ツール を参照	選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
1		1: コンテナ					
2		2: シャーシ					
3		3: その他					
4		4: オンシャーシコンテナ					
5							
6							
7							
8							
9							
10							

1. 利用した係留施設については調査しない。
2. 入港船舶の隻数・総トン数には各種船舶の合計値を記入する。
ただし5総トン未満の船舶については隻数・総トン数を計上しない。